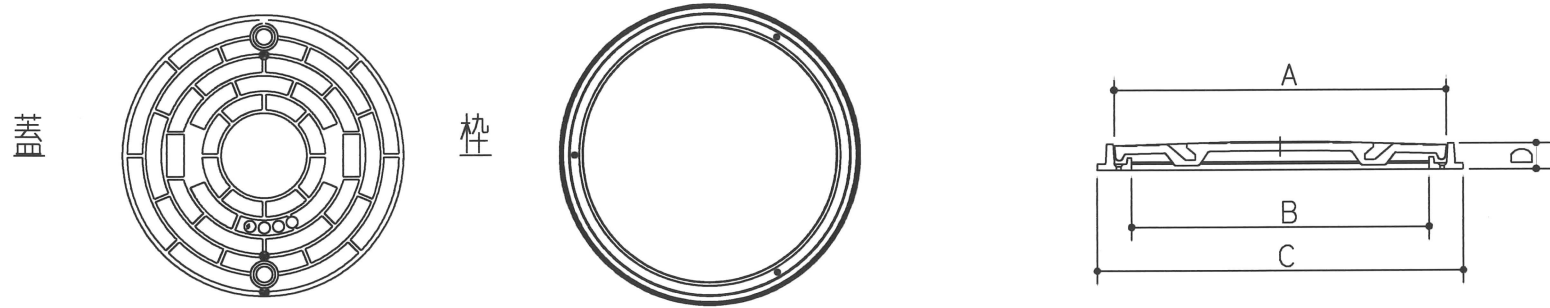


FRP製マンホール

(ロック付・パッキンなし)



寸法・規格表

マンホール	パイプ	A	B	C	D	T-1	T-2	T-4	T-6
300φ	300φ	328	300	359	30	○	○	---	---
350φ	370φ	385	345	424	30	○	○	---	---

重量表(蓋)

マンホール	T-1	T-2	T-4	T-6
300φ	2.3	2.3	---	---
350φ	3.5	3.5	---	---

* マンホールの枠は各仕様共通です。

安全・破壊荷重

マンホール	T-1		T-2		T-4		T-6	
	安全荷重	破壊荷重	安全荷重	破壊荷重	安全荷重	破壊荷重	安全荷重	破壊荷重
300φ	2.5 KN	10 KN	5.0KN	20 KN	---	---	---	---
350φ	2.5 KN	10 KN	5.0KN	20 KN	---	---	---	---

安全荷重(選定目安)とは

SHASE-S規格によれば、敷地周辺道路および敷地内道路で5トントラック以上の重車両が通過する場合50KN(5000Kgf)、敷地内道路で普通乗用車(2001cc以上)および4トントラック以下の車両が通過する場合15KN(1500Kgf)、建物内および敷地内で小型乗用車車両(2000cc以下)通行する場合5KN(500Kgf)を安全荷重と規定している。

破壊荷重とは

試験体(蓋)を圧縮試験機で破壊し、その耐えた最大荷重。通常安全荷重の4倍とする。

* マンホールの説明

T-1: 1ton荷重用
 T-2: 2ton荷重用
 T-4: 4ton荷重用
 T-6: 6ton荷重用

注意事項

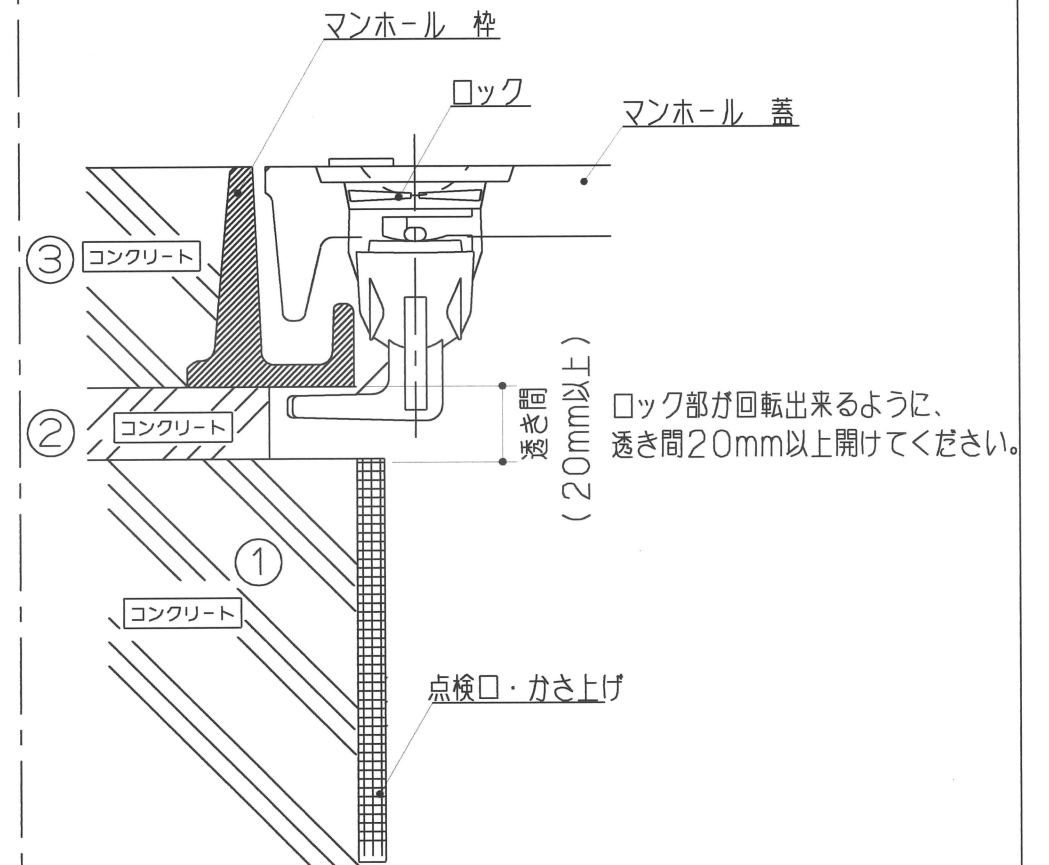
下記の様な問い合わせが殺到・・・
 『既存のマンホールの外径が 000φある。これと同じ蓋がありませんか?』



マンホール蓋は、メーカーにより溝の位置も、溝深さも異なりますので、ピッタリ合う物がないと思われます。既存の枠を固めているコンクリートははずして、これに近いマンホールをご利用下さい。

FRP製マンホール(ロック式)の施工方法

300φ、350φの場合



1. 点検口・かさ上げの回りをコンクリート①で固める。
2. ロックが回転する隙間を設けるため、コンクリートを打つ。②
(上部に車、重量物が乗る場合、直接かさ上げに荷重がかからないのを兼ねています。)
3. 固めたコンクリートの上にマンホール枠を乗せ
再びコンクリート③で固める。

マンホール	日付	2015.9.4	製図	KM
	尺度	1/20	担当	TF
図面名	図法		校閲	
FRP製(蓋:レジコン、枠:PP) 外形寸法図	図番	KB04-No01AA		

ロンシール機器株式会社